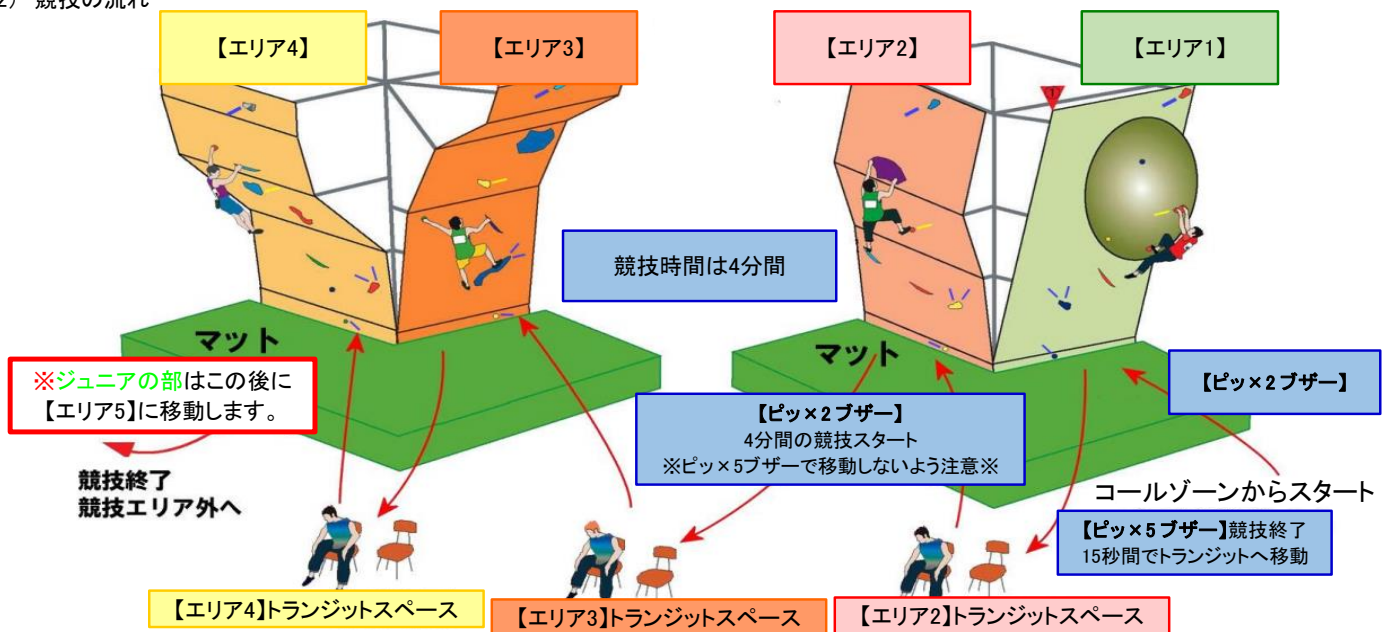


■競技方式

- 1) **エキスパートの部** : ○予選 ベルトコンペ方式 / ○決勝 IFSCに準ずる方式 の2ステージにて順位を決定する。
 ○予選 ・ ベルトコンペ方式 【 4エリア / 1エリア1課題 / 合計4課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒 】
 ○決勝 ・ IFSCに準ずる方式 【 3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間 】
- 2) **ジュニアの部** : ○ベルトコンペ方式 の1ステージにて順位を決定する。 ※予選・決勝方式ではない。
 ○ベルトコンペ方式 【 5エリア / 1エリア2課題 / 合計10課題 / 競技時間4分間+移動時間15秒 】

■エキスパートの部 予選 & ジュニアの部

- 1) **ボルダー・ベルトコンペ方式** : エキスパートの部予選とジュニアの部ではエリア数・課題数などが異なります(上記参照)。
- 2) 競技の流れ



- ①コールゾーンで自分の順番まで待機します。チョークやドリンクなども持ってきてOKです(エリア移動時も管理をしてください)。
- ②【ピッ×5ブザー】で出発準備をし、15秒後の【ピッ×2ブザー】で競技開始。【エリア1】に移動しジャッジにスコアカードを渡します。
- ③競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示されています。完登するまで何回でもトライできます。
- ※エキスパートの部予選は1エリア1課題 ・ ジュニアの部は1エリア2課題を番号順にトライします(詳細は下の例を参照)。
- (例)エリア1にはNo.1とNo.2があり、最初はNo.1をトライします(最初からNo.2はトライできません)。No.1完登後にNo.2をトライできます。
- ④【ピッ×5ブザー】が鳴ったら競技終了です。トライ中の場合でもすぐに壁から降ります。時間外は成績には反映されません。
- ⑤ジャッジから自分の成績確認とスコアカードを受取り、【エリア2】のトランジットスペースに移動します。
- ⑥【ピッ×5ブザー】で出発準備をし、15秒後の【短いブザー】で競技開始。【エリア2】に移動しジャッジにスコアカードを渡します。
- ※【ピッ×5ブザー】では移動しない(振り向かない)ようにご注意ください。 ②~⑥を繰り返し【エリア4】の競技後が終了です。
- ⑦競技が終了したらスコアカードを担当スタッフにお渡しください。成績は各カテゴリー終了後、10分程度で発表予定です。

- 3) 成績 : 以下の基準に基づいて順位付けされます。

- ① 完登の合計数【Top】が多い ・ ② ゾーンの合計数【Zone】が多い
- ③ 完登までのアテンプト数の合計【At.T】が少ない ・ ④ ゾーンまでのアテンプト数の合計【At.Z】が少ない

- 4) 表彰式 : 表彰式はありませんが、成績上位者には個別に賞状等をお渡しするので、該当者にはお待ち頂くようお声掛けいたします。

■エキスパートの部 決勝

- 1) エキスパートの部予選→決勝進出定員 : 男子・女子別に【**成年と少年をあわせた成績より上位5名**】が決勝に進出する。
- 2) IFSCに準ずる方式 (1課題を1選手ずつ順番にトライする方式) 【3エリア / 1エリア1課題 / 合計3課題 / 競技時間最大4分間】
※詳細なルールは競技前にご案内をいたします。
- 3) 成績 : 以下の基準に基づいて順位付けされます。
 - ① 完登の合計数【**Top**】が多い ・ ② ゾーンの合計数【**Zone**】が多い
 - ③ 完登までのアテンプト数の合計【**At.T**】が少ない ・ ④ ゾーンまでのアテンプト数の合計【**At.Z**】が少ない
 - ⑤ 同着の場合には予選成績のカウンバックを用いる
- 4) 表彰式 : 表彰式はありませんが、成績上位者には個別に賞状等をお渡しするので、該当者にはお待ち頂くようお願いをいたします。

■表彰

- 1) 第17回コバトンボルダーカップ としての表彰
 - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
 - ②エキスパートの部成年・少年総合の男女別の優勝者にはトロフィー(レプリカ)を授与する。
 - ③ジュニアの部ユースB・C・Dの男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
 - ④上記①・②それぞれのカテゴリーで1位の選手には副賞を授与する。
- 2) 第37回県民総合スポーツ大会 としての表彰 (対象 : お申込時の住所が「埼玉県」の選手)
 - ①エキスパートの部の成年・少年の男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
 - ②ジュニアの部ユースB・C・Dの男女別それぞれのカテゴリーで1位から3位まで賞状を授与する。
※県民スポーツ大会の賞状はSMSCAに新年度になったばかりで届いていないため、5月以降に配送する予定です。

■課題の表示方法(テープ表示)について

- 1) **競技該当課題はスラッシュテープ(棒テープ)で表示**しています。
右写真に例を示します(赤スラッシュテープの表示)。
- 2) **ジュニアの部**では1エリアで2課題をトライします。
そのため、**スラッシュテープも異なる2色**で表示しています。
また、トライをする課題は決められており、**番号順にトライ**をします。
例)最初はNo.1のみをトライをし、完登後はNo.2をトライできます。
- 3) スタートは**4点スタート**(右手・左手・右足・左足を全てセットし安定したスターティング・ポジションからスタートする)です。**スタートは【S数字】で表示**しており**4点のどこかを数字ぶんセット**します。
- 4) ゾーン【Z】は順位をわかるための明確なポイントで各課題に1ヶ所です。
- 5) 木製ハリボテやポリウムホールド(あわせてハリボテ)も利用可能な場合にはテープ表示をしています。また、**指定ホールドが付いている場合にはハリボテ自身にテープ表示がなくとも利用可能**です。
逆に、上記のどちらでもないハリボテは利用できません。
- 6) トップ【T】は終了点です。エリアを指定する場合があります。




※ウォームアップエリアにて【テープ表示例】を作成しているので、選手の皆さんはアップの際にご確認をお願いします。
また、4点スタートやゾーンについてのご質問がございましたら、ウォームアップエリアのスタッフにお問い合わせください。

■ 競技の注意点

1) オブザベ中

- ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)には触らないでください。**
テープの付いていないホールドにも触れないでください。
- ② クリーニング(ブラッシング)は選手自身でもらっても構いませんが、**ホールドにチョークは付けない**でください。



赤テープ課題をトライする場合、この赤いホールドも使えるし、

2) スタート(4点スタートのスターティング・ポジションに入るとき)

- ① **スタート以外のホールド(ハリボテを含む)を使用しない**でください。例)遠いから他のホールドを使うなどはダメ。
- ② **身体がマットから離れ4点スタートの前に落ちた場合にも1フォール**です。スタートに入る際にも1ムーブあるという考えです。

3) トライ中

- ① **同じ色のテープで示されたホールドやハリボテのみを使用**してください。
また、壁の形状は限定が無い限り利用可能です。
- ② 壁やハリボテのボルト穴は使用禁止です。
- ③ **身体がマットに触れた場合は競技を中止**です。また、ジャッジ判断で中止をする場合もあります。その場合にはジャッジの指示に従ってください。
- ④ **デマケーション(黒テープ)の外側は使用禁止**です。右写真に例を示します。
また、壁の上部(リップ)・白い塗装の柱・張り・管なども使用禁止です。



3) ゾーン

- ① **【Z】**で表示されており、**保持する(片手でOK)ことで成績にカウント**されます。**タッチなどでは無効**です。
- ② **【Z】を使用せずに登ることもできます。その際に【Z】ラインより上まで登って【Z】はカウントされません。**
ただし、完登すれば【Z】はカウントされます。つまり【Z】を使用せず、完登もしなければ成績は何もカウントされません。

4) 完登・トップ

- ① **【T】**で表示されており、両手で保持・コントロールした際にジャッジがそれを認め『OK』とコールします。これで完登になります。
※選手のみなさんは『OK』コールを聞くまで降りたり、他のホールドを使わないようにしてください。

5) 抗議・意見

各エリアの成績確認で問題があるようであれば、その際に担当ジャッジに抗議・意見を伝えてください。

作成:2024年4月4日